

## 生活科学研究所学習グループ活動記録 (1989年)

Document of activity by the study

group in Living Science Institute

本研究所では1989年度から地域社会の人々を主体とした学習会を設けている。第1期である本年度は、生活科学上のいくつかのテーマを提示し、各々について関心をもつ人を募り学習グループを編成して、基本的に月1回ずつの例会を行なう形式をとった。各テーマを専門とする本研究所所属の教員が各グループの指導にあっているが、これは地域社会における生涯教育の一環となすことを一つの目的とした活動であるから、担当教員よりは参加者の意欲によって運営され、発展する状態へ移行するのが望ましい。

活動内容はレクチュアから見学会、実習その他にわたり、一泊程度の小旅行を行なうグループもある。参加費は無料であり、必要に応じて実費を徴収している。

参加者の募集にあたっては、本学及び本研究所の公開講座への参加者を中心に呼びかけた。本学の立地する越谷市の在住者の他、周辺の春日部市などからの参加が得られた。参加者が友人、知人を誘ってくることも多い。現在のところ、一グループの人数は数名から10名前後であるが、各グループ月例会の日時はずらせてあるので、メンバーはかなり重複している。主婦が大多数を占めており、生涯教育の一般的な目的からいっても、男性の参加者をふやすことは今後の課題の一つであろう。

1989年内の各学習グループの具体的な活動内容は以下の通りである。

### ○テーマ「食文化」

担当：泉 敬子 後藤美典 中林みどり  
山浦順子

- 第1回 (4月) レクチュア「食生活の構造」
- 第2回 (5月) レクチュア「食生活の構造・2」
- 第3回 (9月) 調理実習・懐石料理
- 第4回 (10月) 調理実習・フランス家庭料理
- 第5回 (12月) レクチュア「京料理の歴史」

(フランス家庭料理の実習はグループ参加者の中のプロのクックさんの企画によるものであり、当人が講師をつとめている)

### ○明治期からの衛生学関連文献の抄読

担当：金子 俊

- 第1回 (4月) 「保健食料」(衛生試験彙報 内務省 明治20年)の抄読
- 第2回 (5月) 「保健食料」(衛生試験彙報 内務省 明治20年)の抄読・2
- 第3回 (6月) 「日本人ノ食物ヲ論ズ」(東京医学会雑誌 明治20年)の抄読
- 第4回 (9月) 「日本人ノ食物ヲ論ズ」(東京医学会雑誌 明治20年)の抄読・2
- 第5回 (10月) 「大日本兵卒食料改正意見

- 草案」(東京医事新誌 明治15年)の抄読
- 第6回(12月) 「大日本兵卒食料改正意見草案」(東京医事新誌 明治15年)の抄読・2

### ○テーマ「食品のみなおし」

熱帯産果実(トロピカルフルーツ)について

担当：高野三郎

- 第1回(4月) レクチュア「トロピカルフルーツとは何か」
- 第2回(5月) トロピカルフルーツの特徴・栄養価など/数種の果実の試食
- 第3回(6月) トロピカルフルーツの料理、食べ方など/料理法の検討、ジュース等の試食

### ○住環境・住宅勉強会

担当：松本恭治 山浦順子 中村泰輔

- 第1回(4月) レクチュア「住まいと健康」病気を起こす住環境
- 第2回(5月) レクチュア「住まいと健康・2」高齢者の生活設備・機器、福祉施設
- 第3回(6月) 見学会・本学周辺地域の生活環境
- 第4回(7月) レクチュア「集合住宅地

のアメニティ」

- 第5回(9月) ヒアリング「越谷市のまちづくりの現状と課題」越谷市都市施設部、開発部の担当者にきく
- 第6回(10月) 見学会・越谷市千間台の住宅建築協定区域他

### ○ホームマネージメントスクール

担当：蒲生不二男 清水美津子

- 第1回(4月) レクチュア「異文化にふれて」
- 第2回(5月) テーマ「生活と自然」食の古今・山菜と食(福島にて一泊二日)
- 第3回(6月) レクチュア「生活と住」
- 第4回(7月) テーマ「生活と健康・身体」(唐沢山県立自然公園へハイキング)
- 第5回(9月) テーマ「生活と健康・身体」(日光・戦場ヶ原へハイキング)
- 第6回(10月) テーマ「生活と自然」(つくば市にて芋煮会)
- 第7回(11月) テーマ「生活と健康・心」(本学吹奏楽部の定期演奏会へ)

(ホームマネージメント各テーマの講師は広く学内に求めている)